

環境先進国

ドイツから学ぶ

吉田 浩巳

30



え方を持っています。さら

に、組織の中にファンドライジング(資金調達)ができる人材がいないと組織として継続していくのは難しいという厳しい持論を展開しています。

学校での具体的なカリキュラムは人材育成に関するプログラムが中心です。人材育成、コミュニケーション能力の向上、資金調達方法について学びますが、中でもリーダーとしての人材育成を最も重要な位置づけとしており、多くの時間が割かれています。

リーダーの人材育成がうまくいってこそ、コミュニ

面しています。

こういった状況下においてもNPOが社会的責任を担っていくためにNPOの基盤強化と人材育成を主な目的とした学校がドイツにあります。

今回は、この学校を中心にドイツにおけるNPOのマネジメントについて紹介致します。

1993年、資金調達と人材育成を主な柱として「ファンドライジングアカデミー」が設立されました。

NPOの資金調達①

学校でノウハウを学ぶ

さらに追い打ちをかけているのが、政府の低金利政策で、資産の運用益を活動の大きな財源にしている財団法人等は、金利の低下により自己の活動はもとより、NPOへの支援活動や協働事業なども大幅な縮小をせざるを得ない状況に直

このアカデミーは、NPOにとって必要な要素として人材、活動場所(事務所)や活動に必要な物品、活動に伴う資金、有益な情報、さまざまなノウハウを持っています。

特に活動資金獲得は最重要課題であり、この部分を

強化することで、活動の継続性、責任性、そして安定性を担保し、市民の信頼も勝ち取ってきました。また、賛同者を増やすこともに、さらに会費や寄付を集めていく循環を作るといっ

このファンドライジングアカデミーでは、約1年かけて資金調達の手法を教えるそうです。

(社団法人まちづくり国際交流センター理事長)

|| 毎月第2、第4、第5

水曜日掲載 ||



「NPO経営のための資金調達と人材育成を学ぶ」ファンドライジングアカデミー